学校番号	１０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ（視唱奏D）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	大学別入試課題、名曲視唱曲集（音楽之友社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初見を技術面だけでなく、表現者として求められる音楽表現、音色、構築力、アンサンブル力などを身につけます。将来の演奏や教育での発展の基盤となるように学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【知識及び技能】初見による視唱、視奏に関する知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】音楽を形作っている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽理論の知識を基礎として、初見による「視唱・視奏」に際し楽譜を正しく理解をしている。【知識】 音程やリズム、拍など楽譜に書かれたことを正しく演奏している。【技能】	音高、リズム、フレーズのまとまりなど、音楽を形作る様々な要素の働きやその効果などについて思考・判断力・表現する力を身につける。 これら音楽の諸要素を正しく捉えて演奏するだけではなく、そこから生き生きとした豊かな音楽を表現しようという意図を持っている。	豊かな音楽表現の基礎としてソルフェージュ能力の向上に関心をもち、「視唱・視奏」の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価します。年度末評定については専攻によって評価の比率が異なるため、教科担当より説明します。

4　学習の活動

学期	題材	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	初見演奏	①名曲視唱曲集 ②バロック～ロマン派の作品 ③邦人作品を含む近現代の作品 ④大学別入試課題	a:【知識】音楽理論の知識を基礎として、初見による「視唱・視奏」に際し音楽の様々な要素・様式を楽譜から正しく理解をしている。 【技能】音程やリズム、フレーズなど楽譜に書かれた音楽の諸要素を正しく演奏することを基本に、音楽のまとまりやフレーズの自然な抑揚といった豊かな音楽表現のための音量・音色による表現を行っている。 b:音高、リズム、フレーズのまとまりなど、音楽を形作る様々な要素の働きやその効果などについて思考・判断力・表現する力を身につける。 これら音楽の諸要素を正しく演奏するだけではなく、楽譜から音楽の様式を捉えて、生き生きとした豊かな音楽を表現しようという意図を持っている。 c: 豊かな音楽表現の基礎としてソルフェージュ能力の向上に関心をもち、ソロやアンサンブルによる「視唱・視奏」の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察記録 テスト	観察記録 テスト	観察記録 テスト
後期				観察記録 テスト	観察記録 テスト	観察記録 テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度